

(2) 市民病院

① 所在地 長崎市新地町 6 番 39 号

② 沿革及び施設の概要

ア 沿革

昭和 16 年 12 月 移民教養所を陸軍病院として利用
 昭和 20 年 10 月 長崎慈恵病院へ改称
 昭和 21 年 4 月 長崎中央病院へ改称
 昭和 23 年 11 月 日本医療団の解散に伴い長崎市が買収
 昭和 23 年 12 月 長崎市立市民病院として開設
 昭和 32 年 7 月 総合病院の承認
 昭和 36 年 12 月 現管理棟完成
 昭和 39 年 4 月 地方公営企業法の一部（財務）適用
 昭和 42 年 4 月 南病棟完成
 昭和 50 年 8 月 本館完成
 平成 8 年 12 月 災害拠点病院の指定
 平成 14 年 12 月 地域がん診療連携拠点病院の指定
 平成 15 年 4 月 地方公営企業法の全部適用
 平成 17 年 10 月 地域医療支援病院の名称承認
 平成 18 年 8 月 セカンドオピニオン制度実施（実施病院 4 市立病院）
 平成 20 年 4 月 地域周産期母子医療センター認定
 平成 21 年 6 月 病院機能評価（バージョン 5.0）認定
 平成 22 年 3 月 長崎 D M A T（長崎県災害派遣医療チーム）の配置

イ 施設の概要

（単位：㎡）

区分	構造	建築面積	延床面積	敷地面積
本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 7 階建	2,237.05	12,858.08	5,499.02
南病棟	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 5 階建	816.74	3,730.56	
管理棟	鉄筋コンクリート造 地上 4 階建	598.19	2,255.81	
計		3,651.98	18,844.45	5,499.02

③ 所管事務の概要

長崎市立市民病院は、昭和 23 年 12 月 1 日、市民の健康保持に必要な医療を提供するために、日本医療団長崎県中央病院を引き継ぎ、長崎市立市民病院として開設以来、数次にわたる増改築あるいは診療科の拡大、高度医療の導入を図りながら現在に至っている。

地域の病院、診療所などを支援する地域医療支援病院をはじめ、長崎地域二次救急医療病院輪番制病院、長崎地域救急医療二次病院群の主力病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院、看護学生実習病院、専門医教育病院及び各種医療取扱機関の指定を受け、県南地区の基幹病院としての役割を果たしている。

ア 診療科

内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、リウマチ科、小児科、新生児小児科、外科、整形外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、胸部外科、病理診断科、ペインクリニック・緩和ケア内科、糖尿病代謝内科、内分泌内科

イ 病床数（414床）

一般病床 414床

うちCCU2床、NICU3床、未熟児病床12床